

# 介護保険アンケート調査の結果報告

【回答者 … 全員】

今回のアンケート調査は、介護保険制度が始まってから

三年半が経過した昨年十一月に実施しました。比較的制度も浸透し、サービスの利用実績も順調に伸び、徐々に軌道に乗り始めている時期の要介護認定者や介護者の皆さんの率直な意見をいただきました。

ここでは、アンケートの回答の一部をご紹介します。

(各項目の割合は、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100割にならないことがあります。)

## アンケートの概要

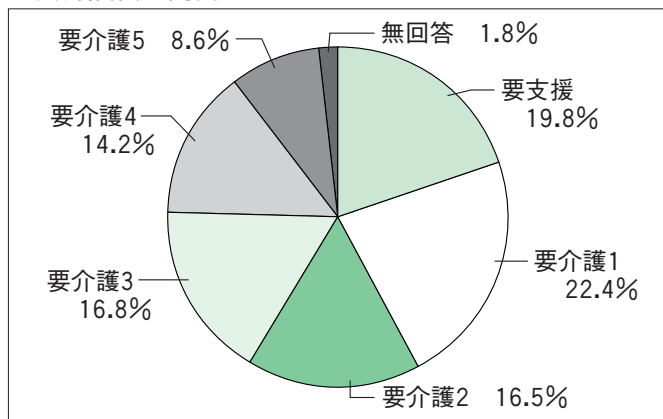
実施時期	昨年11月14日～28日
対象者	昨年9月末日時点で要介護認定を受けている 904人
回収方法	郵送
回収率	63.2%

## 回答者の属性

性別	
男性	26.3%
女性	55.2%
無回答	18.6%
年齢構成	
40～64歳	7.5%
65～74歳	14.0%
75歳以上	75.9%

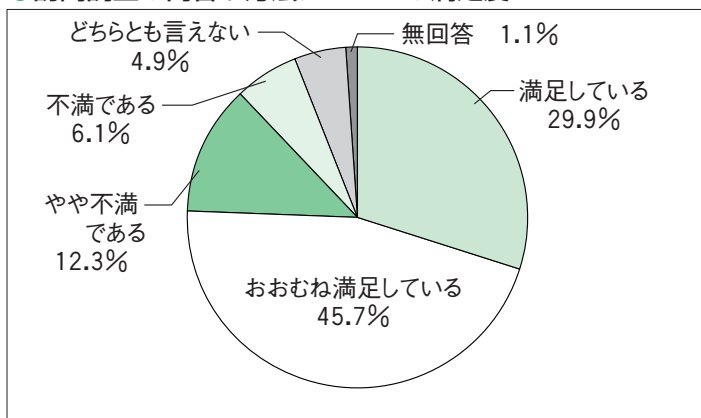
## 要介護度の割合

### ●要介護度の割合



要支援が十九・八割、要介護1が二・四割、要介護2が十六・五割、要介護3が十六・八割、要介護4が十四・二割、要介護5が八・六割、無回答が一・八割でした。

### ●訪問調査の内容や方法についての満足度



「おおむね満足している」が四五・七割と最も多く、「満足している」(二九・九割)と合わせると七五・六割の人が訪問調査に満足しています。利用者やご家族の要介護認定への信頼を得るこ

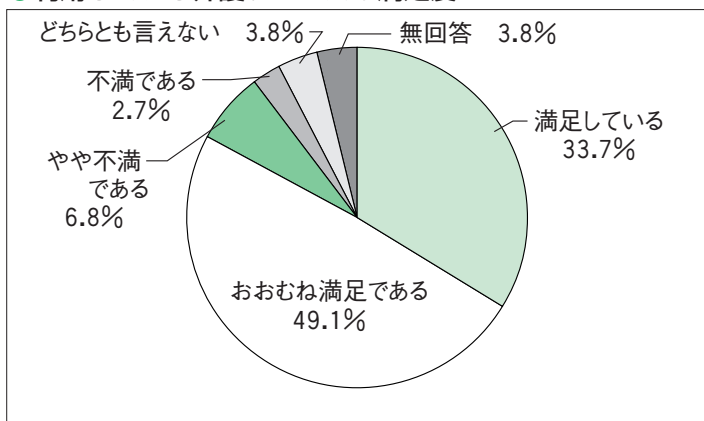
訪問調査(介護保険の認定結果。例えば要介護1などを出すための調査)の内容や方法についての満足度

とが制度の安定した運営につながるため、町では平成十三年度から町職員として訪問調査員を採用し、要介護認定



## 利用している介護サービスの満足度

### ●利用している介護サービスの満足度

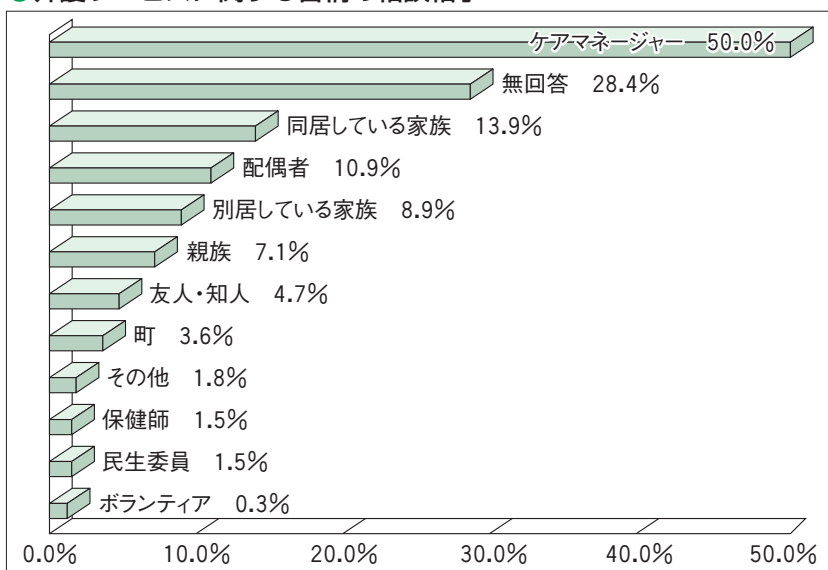


「おおむね満足している」(四九・一割)と「満足している」(三三・七割)を合わせると八割を超える人が現在利用している介護サービスに満足しています。さらに満足度を高めるためには、町は様々な面から事業者のサービスの質の確保・向上を支援していく必要があります。

【回答者】：ケアプラン作成者

## 介護サービスに関する苦情の相談相手

### ●介護サービスに関する苦情の相談相手



【回答者】：ケアプラン作成者・複数回答

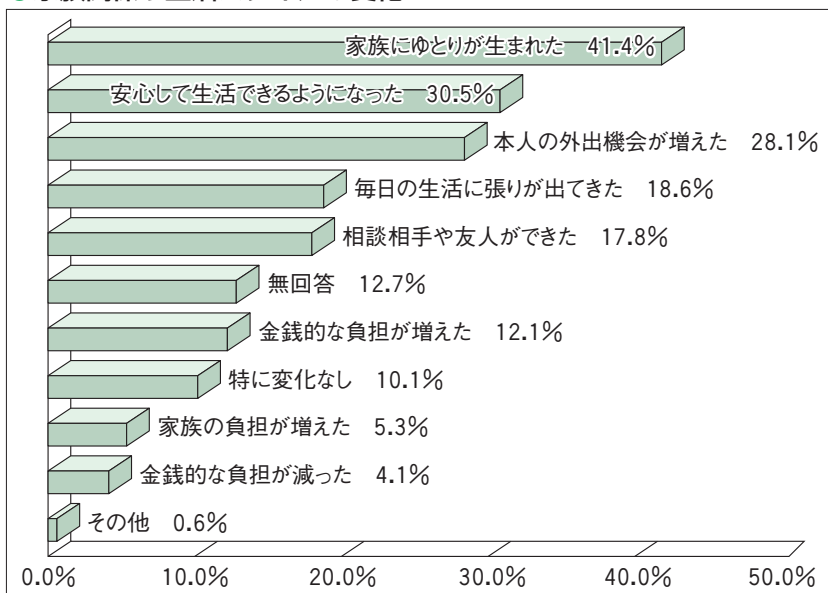
最も多いのが、「ケアマネージャー」で五〇・〇割。介護保険制度とともに誕生したケアマネージャーが利用者やご家族にとって不可欠な存在になっています。次いで「無回答」が二八・四割で、そのうちのほとんどの人が「サ

ービスに関する苦情はない」となっています。

しかしながら、一方で介護サービスに対し、不平や不満を抱きながらも相談できない人も存在することをしっかり受けとめ、相談や苦情に対して迅速かつ適切な対応が図れるようなくみを整備していく必要があります。

## 家族関係や生活スタイルの変化

### ●家族関係や生活スタイルの変化



【回答者】：ケアプラン作成者・複数回答

プラス面では「家族にゆとりが生まれた」(四一・四割)や「安心して生活できるようになった」(三〇・五割)等ゆとりや安心を感じている人が多い結果となっています。

一方マイナス面では「金銭的な負担



